

公認スポーツ栄養士検定試験に関する注意点

2019. 3. 24 一部修正

2023. 2. 7 一部追加

専門科目における検定は、日本スポーツ栄養学会が、インターンシップをまとめた要旨提出および発表（パワーポイントによるプレゼンテーション）と、知識を問う口頭試験を実施し、日本栄養士会より委嘱された検定員が審査します。

I. インターンシップの注意点

1. インターンシップの時間は 40 時間以上です。40 時間以上実施したことがわかるように日誌をつけ、インターンシップ先の指導者（チーム責任者）の署名をもらってください（チーム責任者とは、チーム全体を掌握している者）。日誌は、他の提出物同様、期日までに提出していただきますが、郵送でお送りいただいた場合、返却しません。
2. 日誌のひな型は掲示板からダウンロードできます。
3. 複数のアスリートを対象とするマネジメントを実施してください。
4. スポーツ栄養マネジメントに沿ったインターンシップをするように心掛けてください。特に「スポーツ栄養マネジメントの評価票」の「評価項目」、「評価の観点」を確認して、マネジメントを組み立ててください。

II. スポーツ栄養マネジメントの評価票について

「評価項目」、「評価の観点」で、解説が必要な部分のみ下記に解説します。

1. マネジメントの目的

目的は、「チームの目的」と「スポーツ栄養マネジメントの目的」の両方を記載ください。

たとえば、20 名のチームでサポートする際、「チームの目的」が「秋の全国大会優勝」であり、そのためにスポーツ栄養マネジメントとした場合、5 名が増量、5 名が減量、10 名が体重維持でサポートしたとします。発表の際には、増量、減量、体重維持のいずれか 1 つで発表してください。

2. 期間

スポーツ栄養マネジメントの目的に応じた期間を設定してください。

3. スクリーニング

対象者の選定条件と、スクリーニング後の人数を明確にしてください。

4. 全体の一貫性

マネジメントの目的にあったアセスメントや目標設定、評価を行うようにしてください。

III. 要旨作成について

1. 要旨は指定のテンプレートを使用して作成してください。「スポーツ栄養マネジメントの評価表」を加工し用いるなど、指定テンプレート以外の書式は認めません。
2. 要旨も評価の対象となります。

Ⅲ. 発表での注意点

1. プレゼンテーション時間は 10 分とし、5 分の質疑応答があります。決められた時間内でプレゼンテーションしてください。
2. スポーツ栄養マネジメントに沿った発表をするように心掛けてください。特に「スポーツ栄養マネジメントの評価票」の「評価項目」、「評価の観点」を確認して、発表を組み立ててください。
3. 集団をマネジメントする能力を評価します。
4. 対象としているチームのサポート内容をすべて報告する必要はありません。インターシッップで実施したマネジメントに絞って報告してください。
5. 要旨と発表の内容を一致させてください。
6. 発表資料（パワーポイント）の見やすさも評価の対象になります。
発表資料の分量（枚数）に決まりはありませんが、プレゼンテーションを行う際に、途中に「（提示のみで）口頭で説明しないスライド」が入らないように作成してください。
質疑応答で示す必要があると考えるスライドについては、口頭で説明するスライド原稿の後に付けるようにしてください。

以上